

# 第四期特定健康診査等実施計画

---

## クラシエ健康保険組合

最終更新日：令和6年03月29日

# 特定健康診査等実施計画（令和6年度～令和11年度）

背景・現状・基本的な考え方 【第3期データヘルス計画書 STEP2から自動反映】		
No.1	<p><b>健診結果</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被扶養者の特定健診受診率が低く、自身の健康状態を把握できていない可能性がある。</li> <li>●特定保健指導該当率は高いわけではないが、経年該当者が多くを占め、健康リスクが高まる。</li> </ul>	<p>➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被扶養者の特定健診受診率を向上させるため、未受診者への受診券送付を含めた受診促進案内を促進する。</li> <li>●特定保健指導において経年者には指導該当脱却を目指し取り組む。</li> <li>●若いうちから健康意識を高め、生活習慣改善に取り組んでもらうため、35～40歳未満の若年層に保健指導実施に取り組む。</li> </ul>
No.2	<p><b>生活習慣病・悪性新生物医療費</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●2022年度の全医療費に占める生活習慣病に係る医療費は約9.60%。</li> <li>●加入者1人当たりの生活習慣病医療費の中でも糖尿病医療費が高く、重症化し人工透析へ移行すると医療費が一気に増大することが懸念される。</li> <li>●悪性新生物医療費の割合は全医療費の中でも2番目に高い。</li> </ul>	<p>➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●特定保健指導や生活習慣改善の取組により、重症化を防ぐ。</li> <li>●がんの早期発見および早期治療につなげるため、がん検診受診を促進する。</li> </ul>
No.3	<p><b>重症化予防</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●服薬、加療中であるが、管理不良者がおり、脳血管疾患等の重大疾病発症リスクが高い。</li> <li>●2018年度と比べ、男女共に肥満割合が増加している。その中でも服薬者の割合が増えている。</li> <li>●受診勧奨値以上者でも、未受診者がいる。</li> </ul>	<p>➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●リスク上位者に生活習慣改善等の保健指導プログラムを実施し、リスク低減を目指す。</li> <li>●事業主と連携し、未受診者の受診行動を確実なものにする。</li> </ul>
No.4	<p><b>生活習慣</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●喫煙率は全国健保平均より低く、減少傾向にあるが、事業所別にみると差がある。喫煙は脳血管疾患等の重大疾病発症要因の一つにもなる。</li> <li>●適切な運動習慣を有する者の割合が3割程度しかない。2018年度より肥満の割合が男女共に上昇している。</li> <li>●適切な食習慣を有する者の割合は加入者全体では5割を超えるが、男性をみると5割を下回っている。</li> <li>●適切な飲酒習慣を有する者の割合は全国健保平均よりも低く、男性をみるとその差は大きい。</li> </ul>	<p>➔</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●事業主とコラボし、禁煙を推奨し、禁煙対策を推進する。</li> <li>●運動の習慣化を目指し、簡単に取組めるウォーキングに着目し、キャンペーン等を実施する。</li> <li>●食、飲酒に関する情報提供を行い、生活習慣改善を促進する。</li> </ul>
No.5	<p><b>後発医薬品</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●被保険者・被扶養者共に60歳代前半から前期高齢者の利用率が全国健保平均と比べて低く、前期高齢者医療費の増加につながる。</li> </ul>	<p>➔</p> <p>該当者への後発医薬品差額通知送付を継続。 該当者の抽出基準（前期高齢者等）の見直しも検討する。</p>

基本的な考え方（任意）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健診受診率は被保険者は100%、被扶養者は受診率を毎年向上させ、健康増進の伸展を目指す。</li> <li>・健康増進の持続のため、加入者のヘルスリテラシーの向上を図る。</li> <li>・健康への関心の喚起のため、事業主とコラボし、特定保健指導の実施率は2026年で60%越えを目指す。</li> <li>・健康へのマイナス影響を踏まえ、特定保健指導実施と同時に喫煙率の低下にも取り組む。</li> <li>・リタイア後の生活を意識した健康寿命の延伸につながる取り組みとする。</li> </ul>

## 特定健診・特定保健指導の事業計画 【第3期データヘルス計画書 STEP3から自動反映】

1 事業名	特定健康診査	対応する健康課題番号	No.1, No.4
-------	--------	------------	------------

  

<p><b>事業の概要</b></p> <p><b>対象</b> 対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者</p> <p><b>方法</b> 被保険者：事業主が定期健康診断として、健保補助金を利用し、人間ドック、生活習慣病健診を実施。 被扶養者：事業主が被保険者と同時に実施。健保連等集合契約の受診券送付し実施。健保直接契約期間を利用し実施。</p> <p><b>体制</b> 被保険者：各事業所の担当部門が実施。 被扶養者：一部事業所では被保険者と同時に実施。健保連等集合契約を利用し実施。健保直接契約期間を利用し実施。</p>	<p><b>事業目標</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・被保険者受診率100%、被扶養者受診率の向上を目指し、安定して全体実施率90%を維持する。・受診率向上とその後のフォローの強化により、肥満者の減少、生活習慣病関連医療費の削減につなげる。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アウトカム指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>生活習慣リスク保有者率</td> <td>52.5%</td> <td>52.0%</td> <td>51.5%</td> <td>51.0%</td> <td>50.5%</td> <td>50.0%</td> </tr> <tr> <td>評価指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>内臓脂肪症候群該当者割合</td> <td>12.0%</td> <td>11.5%</td> <td>11.0%</td> <td>10.5%</td> <td>10.0%</td> <td>9.5%</td> </tr> <tr> <td>アウトプット指標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>受診率（全体）</td> <td>90.3%</td> <td>90.7%</td> <td>91.1%</td> <td>91.5%</td> <td>92.1%</td> <td>92.3%</td> </tr> <tr> <td>受診率（被保険者）</td> <td>99.1%</td> <td>99.3%</td> <td>99.4%</td> <td>99.7%</td> <td>100%</td> <td>100%</td> </tr> <tr> <td>受診率（被扶養者）</td> <td>58.5%</td> <td>59.8%</td> <td>61.0%</td> <td>62.2%</td> <td>63.4%</td> <td>64.6%</td> </tr> </tbody> </table>		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	アウトカム指標							生活習慣リスク保有者率	52.5%	52.0%	51.5%	51.0%	50.5%	50.0%	評価指標							内臓脂肪症候群該当者割合	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%	9.5%	アウトプット指標							受診率（全体）	90.3%	90.7%	91.1%	91.5%	92.1%	92.3%	受診率（被保険者）	99.1%	99.3%	99.4%	99.7%	100%	100%	受診率（被扶養者）	58.5%	59.8%	61.0%	62.2%	63.4%	64.6%
		R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度																																																									
アウトカム指標																																																																
生活習慣リスク保有者率	52.5%	52.0%	51.5%	51.0%	50.5%	50.0%																																																										
評価指標																																																																
内臓脂肪症候群該当者割合	12.0%	11.5%	11.0%	10.5%	10.0%	9.5%																																																										
アウトプット指標																																																																
受診率（全体）	90.3%	90.7%	91.1%	91.5%	92.1%	92.3%																																																										
受診率（被保険者）	99.1%	99.3%	99.4%	99.7%	100%	100%																																																										
受診率（被扶養者）	58.5%	59.8%	61.0%	62.2%	63.4%	64.6%																																																										
<p><b>実施計画</b></p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>R6年度</th> <th>R7年度</th> <th>R8年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>被保険者：事業主と共同で事業主健診として人間ドックや生活習慣病健診を実施 被扶養者：被保険者事業主健診時に一緒に実施。前年度未受診者に受診券送付。</td> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> </tr> <tr> <th>R9年度</th> <th>R10年度</th> <th>R11年度</th> </tr> <tr> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> <td>継続実施</td> </tr> </tbody> </table>	R6年度	R7年度	R8年度	被保険者：事業主と共同で事業主健診として人間ドックや生活習慣病健診を実施 被扶養者：被保険者事業主健診時に一緒に実施。前年度未受診者に受診券送付。	継続実施	継続実施	R9年度	R10年度	R11年度	継続実施	継続実施	継続実施																																																				
R6年度	R7年度	R8年度																																																														
被保険者：事業主と共同で事業主健診として人間ドックや生活習慣病健診を実施 被扶養者：被保険者事業主健診時に一緒に実施。前年度未受診者に受診券送付。	継続実施	継続実施																																																														
R9年度	R10年度	R11年度																																																														
継続実施	継続実施	継続実施																																																														

2 事業名 特定保健指導

対応する健康課題番号 No.1, No.2, No.4



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：40～74、対象者分類：基準該当者
方法	対象者に案内送付。各自で指導機関選択し実施。
体制	事業主保健師及び契約機関に委託実施。就業時間内実施。

事業目標

・特定保健指導実施率向上による対象者の減少。・生活習慣病に関わる医療費の抑制。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
特定保健指導による特定保健指導対象者の減少率	26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%	31.0%
腹囲2cm・体重2kg減を達成した者の割合	25.0%	26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
実施率（全体）	50.0%	52.9%	56.3%	59.1%	63.3%	63.3%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
事業主保健師及び契約機関に委託して実施。2年連続実施者は案内から除外。	継続実施	継続実施
R9年度	R10年度	R11年度
継続実施	継続実施	継続実施

3 事業名 生活習慣病対策

対応する健康課題番号 No.1, No.2



事業の概要

対象	対象事業所：全て、性別：男女、年齢：35～（上限なし）、対象者分類：加入者全員
方法	人間ドック等補助を利用して事業主定期健康診断実施。
体制	事業主と共同実施。個人受診、健保契約健診機関等で受診。

事業目標

人間ドック等生活習慣病予防のための健診費用補助により、特定健診実施率を向上させる。また、疾病の早期発見、早期治療につなげる。

アウトカム指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
- (アウトカムは設定されていません)						
アウトプット指標	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度
人間ドック等の利用率	88.0%	88.2%	88.5%	88.7%	89.0%	89.2%

実施計画

R6年度	R7年度	R8年度
人間ドック及び生活習慣病健診の費用補助	継続実施	継続実施
R9年度	R10年度	R11年度
継続実施	継続実施	継続実施

達成しようとする目標／特定健康診査等の対象者数								
		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
特定健康診査実施率	計画値 ※1	全体	1,707 / 1,890 = 90.3 %	1,714 / 1,890 = 90.7 %	1,721 / 1,890 = 91.1 %	1,730 / 1,890 = 91.5 %	1,740 / 1,890 = 92.1 %	1,745 / 1,890 = 92.3 %
		被保険者	1,467 / 1,480 = 99.1 %	1,469 / 1,480 = 99.3 %	1,471 / 1,480 = 99.4 %	1,475 / 1,480 = 99.7 %	1,480 / 1,480 = 100.0 %	1,480 / 1,480 = 100.0 %
		被扶養者 ※3	240 / 410 = 58.5 %	245 / 410 = 59.8 %	250 / 410 = 61.0 %	255 / 410 = 62.2 %	260 / 410 = 63.4 %	265 / 410 = 64.6 %
	実績値 ※1	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被保険者	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		被扶養者 ※3	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
特定保健指導実施率	計画値 ※2	全体	120 / 240 = 50.0 %	127 / 240 = 52.9 %	135 / 240 = 56.3 %	140 / 237 = 59.1 %	150 / 237 = 63.3 %	150 / 237 = 63.3 %
		動機付け支援	55 / 105 = 52.4 %	57 / 105 = 54.3 %	60 / 105 = 57.1 %	60 / 104 = 57.7 %	65 / 104 = 62.5 %	65 / 104 = 62.5 %
		積極的支援	65 / 135 = 48.1 %	70 / 135 = 51.9 %	75 / 135 = 55.6 %	80 / 133 = 60.2 %	85 / 133 = 63.9 %	85 / 133 = 63.9 %
	実績値 ※2	全体	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		動機付け支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %
		積極的支援	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %	- / - = - %

※1) 特定健康診査の（実施者数）／（対象者数）

※2) 特定保健指導の（実施者数）／（対象者数）

※3) 特定健診の対象となる被扶養者数には、強制被扶養者、任意継続被扶養者、特例退職被扶養者、任意継続被保険者、特例退職被保険者を含めてください。

#### 目標に対する考え方（任意）

##### 特定健診

実施率が国の目標値を超えても少しずつ上昇するように、被保険者は100%を、被扶養者は60%超を目指す。

##### 特定保健指導

数年に亘るリピータのモチベーションや費用対効果を考慮し、2年連続して指導を受けた者は除外する。

その上で、期中に国の目標値を達成を目指す。

#### 特定健康診査等の実施方法（任意）

##### 1. 実施方法（委託）・実施場所

##### 特定健診

被保険者：各事業所が契約した健診機関にて事業主健診（健保補助金利用し人間ドックや生活習慣病健診）として実施、もしくは健保契約健診機関等で個人受診。

被扶養者：被扶養者と同じ健診機関で実施もしくは個人受診。集合契約、パート先健診受診結果を入手する。

##### 特定保健指導

外部保健指導機関に委託する他、母体保健スタッフ（保健師）が一部実施する。

特定保健指導の対象者については、2年連続して指導を受けた者は除外する。

##### 2. 実施項目

実施項目は、標準的な健診・保健指導プログラム第2編第2章に記載されている健診項目とする。

##### 3. 実施時期

実施時期は通年とする。

##### 4. 周知・案内方法

周知は、機関紙等に掲載するとともにホームページに掲載する他、被扶養者の一部には個別案内をする。

##### 5. 健診データの受領方法

被保険者・被扶養者共に事業主健診時の受診の場合は、基本は電子データで事業主経由で受領する他、健診機関から直接受領する。

個人受診の場合は、当健保契約機関から直接電子データを受領、または補助金申請書と共に健診結果を紙で受領する。

##### 6. 特定保健指導対象者の選出の方法

健保システムにより階層化し選出。但し、2年連続して指導を受けた者は除外する。

#### 個人情報の保護

当健保組合の個人情報保護管理規程を遵守する。

当健保組合及び委託された健診・保健指導機関は業務によって知り得た情報を外部に漏らしてはならない。

当健保組合のデータ管理者は、常務理事とする。また、データの利用者は当組合役職員及び当健保組合と契約を交わした外部委託業者に限る。

#### 特定健康診査等実施計画の公表・周知

計画は健康管理事業推進委員会で共有する。

計画はホームページに掲載する。

#### その他（特定健康診査等実施計画の評価及び見直しの内容等）

特定健診受診率および特定保健指導実施率向上を目指し、実態に応じて案内内容や実施方法の見直しを検討する。